

アイズシモツケ

Spiraea chamaedryfolia L. var. *pilosa* (Nakai) Hara

バラ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

県内では1産地、1個体群のみが確認されている。(現況:RO)

形態

落葉低木で、高さ1~2m。若枝は赤褐色を帯び、稜がある。葉は卵形~狭卵形、縁には基部を除き欠刻状の重鋸歯がある。本年枝の先に径約3cmの散房花序をつけ、花は径約1cm、白色5弁。萼片は花時に開出または反曲する。

国内分布

北海道、本州(中部地方以北)、九州(熊本県)。

県内分布

内浦区。

生態など

花期は5~6月。袋果は8~9月に熟す。

生育環境

山の崖地。

危険要因

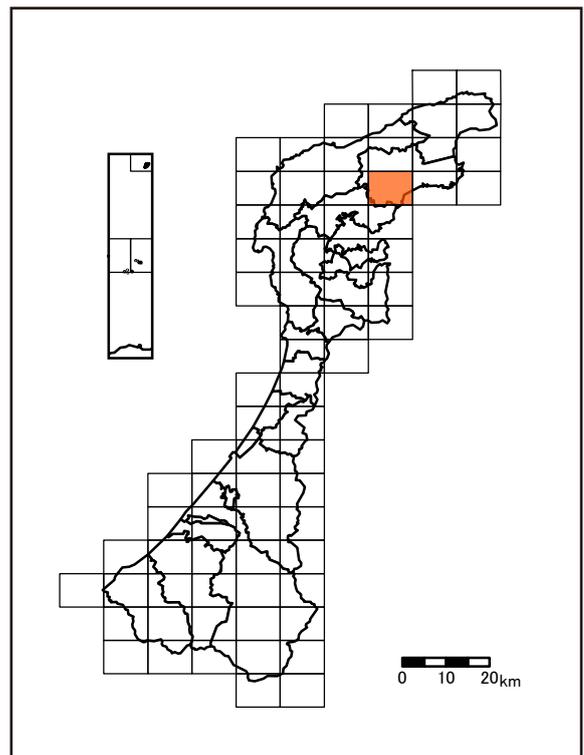
森林伐採、園芸採取、自然遷移、産地局限。

特記事項

本種は平成5年川原氏によって発見され、タンゴイワガサと報告されたものだが、後年、検討の結果、アイズシモツケと同定された。



白井伸和・2008年5月11日・能登町



県内の分布